

令和7年度 次世代の海洋人材の育成に関する事業 海事キャリア教育セミナー

「次世代の海洋人材の育成に関する事業」とは、高専・産業界連携による人材育成を目的として商船系高等専門学校5校により取り組まれている事業。商船系高等専門学校を主体としつつ、連携機関として日本船主協会、国際船員労務協会、全国船舶職員協会、海技教育機構、本組合が参加しており、さまざまなプロジェクトが計画・実施されています。

この「海事キャリア教育セミナー」はサブプロジェクトのひとつ「学生ニーズに合わせたキャリア教育の実施」の一環として開催されているもので、連携機関が毎年持ち回りで5校のいずれかを訪れ、現役の海事従事者の視点から在校生への講演を行うことで、業界への理解や興味の促進を図っています。

本組合が今年度担当したのは弓削商船高等専門学校。無関健一朗(株)商船三井職場委員、牧野綜太 NYK Energy Ocean(株)職場委員から同校の商船学科1~2年生約80人に対し講演を行いました。講演は、無関職場委員ならびに牧野職場委員から自身の経歴について紹介の後、学生がスマートフォンで匿名参加するリアルタイムQ&Aアプリを用いて進行されました。

学生から挙げられた質問・意見は、▽福利厚生について▽船内で怒られることはあるか▽身内の不幸があった際に下船できるかどうか▽海技士試験の勉強を始めるタイミングについて▽船内の食事について▽外航船員は結婚できるかどうか▽年収について一などがあり、外航職場委員兩名からの回答により共通理解が図られました。

終了後のアンケートでは▽身近な例を用いて説明してくれたため理解しやすかった▽船関係の職に就くモチベーションが上がった▽就職や船員のことだけではなくどうやって生きていくかという今後の人生の参考にもなった一などポジティブな感想が多数寄せられました。

本組合は今後も引き続き、外航日本人船員の後継者確保・育成へとつなげるべく、業界内他団体や組織内での連携を深めつつ、諸活動を推進してまいります。

「海員だより」